

－ 記者発表資料 －

横浜港本牧ふ頭に過去最大の15,000TEU型の超大型船が初入港しました！

シーエムエー シージーエム CMA CGM 社（フランス）のコンテナ船「CMA CGM ARGENTINA^{アルゼンチナ}」（全長約366m、船幅51m、最大積載数15,074TEU^注）が、令和5年1月15日（日）に、横浜港本牧ふ頭D4コンテナターミナルに初めて入港しました。

同船は、CMA CGM社が運航する中南米航路「ACS A1^{アクサワン}」に投入されている2隻の15,000TEU型船のうちの1隻として横浜港へ初めて入港したものであり、これまで本牧ふ頭に寄港したコンテナ船で過去最大の大型船となりました。

CMA CGM 社は、中南米からの輸入貨物増加対応に向けた計画の一環として当該航路への大型船の投入を進めています。

横浜港では、国際コンテナ戦略港湾の競争力強化として、コンテナ船の大型化や増加する貨物に対応するため、国土交通省・横浜市・横浜川崎国際港湾(株)で連携し、D4・D5コンテナターミナルの一体的な運用に向けて、D5コンテナターミナルの再整備を進めています。

（注）TEU：20フィートで換算したコンテナ個数

発表記者クラブ		
竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、 横浜市政記者会、物流専門紙		
問合せ先		
○国土交通省関東地方整備局 港湾空港部		
港湾高度利用調整官 田尾 雄喜（たお ゆうき）		TEL：045-211-7437
○横浜市港湾局 港湾物流部物流運営課		
担当課長 山本 智（やまもと さとる）		TEL：045-671-2919
○横浜川崎国際港湾株式会社 営業部		
営業部長 二村 禎彦（ふたむら よしひこ）		TEL：045-680-6583



初入港写真

(参考1) 本船詳細

本 船 名：CMA CGM ARGENTINA
船 籍：マルタ
総 ト ン 数：149,314G/T
最大コンテナ積載数：15,074TEU
全 長：365.98m
船 幅：51m

(参考2) 中南米航路「ACSA1」寄港地

蛇口 - 香港 - 高雄 - 寧波 - 上海 - 釜山 - マンザニョ - ラサカレナス - ブエノスアイレス - ガオ -
ボルハ - ラサカレナス - マンザニョ - **横浜** - 釜山 - 蛇口

(参考3) 15,000TEU型「ACSA1」同型の投入船

CMA CGM ZEPHYR (15,536TEU)：令和5年3月入港予定